Handmade Pickups For Acoustic Instruments 取扱説明書

シャッテンデザイン総輸入代理店：株式会社ティ・エム・シィ
本社 / 〒 550-0003 大阪市西区京町堀 2-5-16　Tel:06-6447-1215
東京営業所 / 〒 154-0016 東京都世田谷区弦巻 3-12-1　Tel:03-5426-4551
名古屋営業所 / 〒 460-0002 名古屋市中区丸の内 2-14-4　Tel:052-218-7033
http://www.tmc-liveline.co.jp　contact@tmc-live-line.co.jp

この度はシャッテンデザインのアコースティック楽器用ピックアップをご購入いただきまして大変有り難うございます。
本説明書を良くお読みになり適切にお使い下さい。

スチール弦ギター用 HFN Artist 取り付け方法

エンドピンジャック・プリアンプの取り付け方法

1) 弦を全て緩め、取り外すかテープ等で止めて手がサウンドホール内に入るようにします。ギター底部のエンドピンを取り外します。
2) エンドピンがネジで取り付けられたストラップボタンのギターの場合は、エンドブロックにエンドピンジャック・プリアンプ用の穴を 12.7mm のドリルで貫通させます。
3) もしエンドピンがエンドブロックに開けられた穴に差し込まれているギター場合は、その穴をリーマーなどで慎重に 12.7mm の内径になるように広げます。
4) エンドピンジャック・プリアンプの外側のストラップボタン、ナット、ワッシャーを取り外します。
5) サウンドホールからエンドピンジャックを入れ、エンドブロックに開けられた穴に差し込みます。穴からジャックが 8mm ほど外に出るようにします。
6) ワッシャー、ナット、ストラップボタンを取り付け、ナットを締め付けます。

ピックアップの取り付け方法

通常ブリッジプレート付近のフラットな部分がピックアップの取りつけには最適です。しかしたいていの場合は弦のテンションなどで多少湾曲していたりします。ほとんどの場合軽い湾曲はピックアップのパフォーマンスに影響を与えません。しかし場合によっては各弦の出力バランスに問題が出る場合があり、その場合には調整が必要になります。この説明書に記載のトラブルシューティングをお読み下さい。
1) ピックアップはギター内部のサドルの真下に取り付けるように設計されています。サドルと並行になるように取り付けて下さい。
2)1 弦と 6 弦のブリッジピンを取り付けて下さい。ブリッジピンとサドルスロットがどれくらい離れているか見当を付けて下さい。

注意

ピックアップのサドルプレートへの貼り付けには付属の両面テープか粘着パテを使用します。両面テープの方が素早く簡単できれいな仕上がりになり、ほとんどの場合均一なレスポンスが得られます。パテを使用するとより高域のレスポンスが良くなり、暗めの音の楽器や低音の良く出る楽器に使用すると良い結果が得られます。まずは両面テープで取り付けてみることをお勧めします。

両面テープによる取りつけ

1) 付属の両面テープの片面の剥離紙を剥がします。平らな場所に粘着側を上にしてテープを置きます。
ピックアップのブリッジ側をテープに押しつけ、ブリッジの脚がしっかりとテープに付くようにします。
2) テープの反対側の剥離紙を剥がします。ピックアップの中心を持ち、外側の 1 弦と 6 弦のブリッジピンを目安に、サウンドホールから手を入れてサドルの真下にピックアップをしっかりと貼り付けます。

粘着パテによる取りつけ

豆粒ほどの大きさのパテをピックアップのブリッジの脚の裏に貼り付けます。ピックアップの中心を持ち、外側の 1 弦と 6 弦のブリッジピンを目安に、サウンドホールからサドルの真下にピックアップをしっかりと貼り付けます。

ボリュームの取りつけ

1) 通常はサウンドホールの低音側の端から少し出たところにボリュームノブが来るように取り付けます。
2) ギター内部のサウンドホールの周辺の取りつけ部分を手で触り、平らできれいな場所を探します。
平らでないと確実な取りつけが出来ません。
3)VHB テープの剥離紙を外し、サウンドホールの取りつけ位置の外側を支えながら、コントロールユニットをしっかりと貼り付けます。

バッテリーバッグの取りつけ

1) バッテリーのケーブルが届く範囲の任意の場所にバッテリーバッグを取り付けます。バッテリーをバッグに収納して、プリアンプのバッテリーコネクターを取り付け、必ずコードが届く範囲である事を確認して下さい。
2) バッテリーバッグの取りつけ場所は、サウンドホールから手が届く範囲で、外から配線やバッテリーが見えない場所にして下さい。
3) 場所が決まったらベルクロテープを貼り付けます。

仕上げ

付属の配線ホルダーを使い、バッテリーケーブル、ピックアップの配線をまとめます。弦を張ります。

トラブルシューティング

楽器によっては各弦の出力バランスが均一でない場合があります。この現象はブリッジプレートが平らでなかったり、楽器の構造による位相のズレにより起こります。このピックアップは実際の振動を 3 本の脚を通して拾って音にしています。両端の 2 本の脚だけで音を拾うことで解決できる場合があります。一度ピックアップを取り外し、真ん中の脚からテープを取り、両サイドの脚に新しいテープを付けてもう一度ピックアップを取り付けてみて下さい。

Handmade Pickups For Acoustic Instruments 取扱説明書

シャッテンデザイン総輸入代理店：株式会社ティ・エム・シィ
本社 / 〒 550-0003 大阪市西区京町堀 2-5-16　Tel:06-6447-1215
東京営業所 / 〒 154-0016 東京都世田谷区弦巻 3-12-1　Tel:03-5426-4551
名古屋営業所 / 〒 460-0002 名古屋市中区丸の内 2-14-4　Tel:052-218-7033
http://www.tmc-liveline.co.jp　contact@tmc-live-line.co.jp

この度はシャッテンデザインアコースティック楽器用ピックアップをご購入いただきまして大変有り難うございます。
本説明書を良くお読みになり適切にお使い下さい。

エンドピンジャック・プリアンプ ArtistII 仕様書

プリアンプのスペック

2 チャンネル：各チャンネルごとに基板上のポットでゲイン調整可能 (0dB ～ 24dB)。
マルチパワーサプライ：9V バッテリー、ファンタム電源 48V 以下、外付けバッテリーボックス (RP-1)。
※ファンタム電源、バッテリーボックス使用時には XLR Male - TRS 1/4" ケーブル (CAB-1) が必要になります。

CAB-1 Cable のスペック：3m、3 芯ケーブル
XLR オス - TRS 1/4" ステレオ　フォンプラグ

XLR Pin	1/4" Stereo
Pin 1 =	Ground = Sleeve
Pin 2 =	Signal = Tip
Pin 3 =	Power = Ting

RP-1 バッテリーボックスのスペック：
リモート式 18V バッテリーボックス
XLR メス、1/4" フォン（モノラル)、2 x 9V バッテリー使用。楽器と RP-1 の接続には CAB-1 ケーブルが必要です。RP-1 とアンプは通常の 1/4" モノラルケーブルを使用します。

fig 1

Thumbwheel Pads
Black
White
Gain Set Input 1
Ground (-) All Controls
Battery Switch Lug (-)
Gain Set Input 2
Red
Yellow

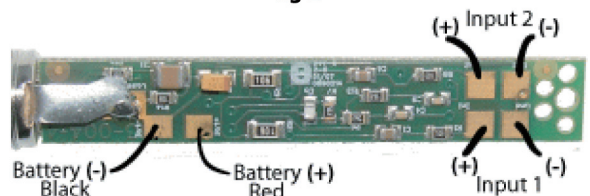
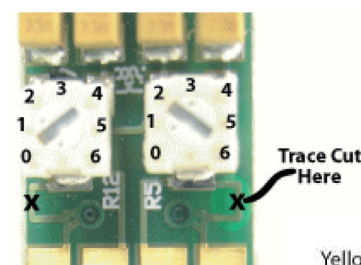
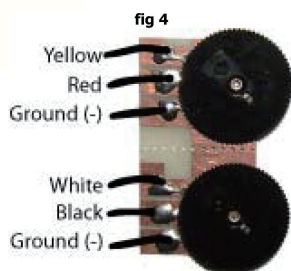



fig 2

ゲインの設定方法

配線済みのプリアンプは初期設定ではゲインは最大値の 20% にあらかじめ設定されています。配線してないものは 0 に設定してあります。ピックアップに応じて設定して下さい。

重要

何もつながれていないチャンネルのゲインは 0 にして下さい。ノイズの原因になります。

もう 1 個アクティブピックアップをプリアンプに接続する場合は左の図に従って下さい。+ の電源は図 1 の Battery(+) から -（Ground) は Battery(-) から取りだせます。通常はプラグの抜き差しで電源を on/off 出来る図 2 の Battery Switch Lug(-) を使用します。

図 3 はゲイン調整用のトリムポットの拡大写真です。左側のポットはそのチャンネルが使用されていないためゲインが 0 にセットされています。右側のポットは 2 に設定されています。ピックアップの感度によりゲインは調整する必要がありますが、初めは 2 から試してみて下さい。

ボリュームコントロール

ボリュームコントロール付きモデルの場合は、該当するチャンネルのポットの回路がカットされています。新たにボリュームコントロールを追加する場合には、図 3 の Trace Cut の部分の回路を鋭いナイフで切断する必要があります

図 4 はボリュームコントロールのワイアーの色とポジションを示しています。2 チャンネル使用する際にはグランドがブリッジされているのでどちらか一方のグランドをプリアンプのグランドに接続して下さい。1 チャンネルのみ使用する場合は、基板のマークの位置で切断して、グランドをプリアンプのグランドに接続して下さい。